

文化から文明へ

◎道具の使用

人類が造った道具として一番最初に登場するのが(1)_____であり、これを用いて狩猟・採集生活を営んでいた時代を(2)_____という。その中でも、人類が一番最初に造った最も原始的な道具が(3)_____であり、猿人の時代から使われていたとされる。原人の時代になると、(4)_____へと進化し、旧人の時代には、(5)_____が生み出され、この代表例として槍の先端等に利用される(6)_____が挙げられる。また新人段階のクロマニヨン人は高度な(7)_____を生み出した。このような狩猟・採集を中心とした経済形態を(8)_____と呼ぶ。



図:道具の使用による狩猟・採取

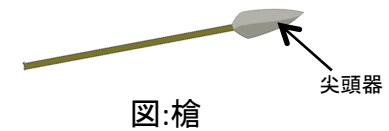


図:槍

◎人類の生活と道具の変化

約1万年前に氷期がおわると、地球は温暖化となり、狩猟・採集の生活から農耕・牧畜による(9)_____へと変化していった。農耕・牧畜がはじまると人類は石斧・石臼などの(10)_____が用いられた。

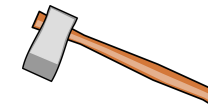


図:石斧

◎農業の進歩

初期の農業は、雨水を頼りにする乾地農法であり、肥料を用いない略奪農法であった。しかし、前6000年頃チグリス・ユーフラテス流域のメソポタミアで人工的に水を土地に供給する(11)_____が始まり、国家が生まれていった。こうしてナイル川、ティグリス川とユーフラテス川、インダス川、黄河、長江の各流域に文明が誕生していったのである。



図:現代の灌漑農業

◎道具まとめ

	旧石器時代	新石器時代
時代	約200万年前～約1万年前	約1万年前～
地質時代の区分	更新世	完新世
特徴	狩猟・採集生活	農耕・牧畜生活
石器	打製石器 =石を打ち砕いてつくった石器	磨製石器 =石を磨いてつくった石器
例	礫石器 (猿人) ハンドアックス (原人) 尖頭器 (旧人)	石斧 石臼

早稲田大学の入試問題の改題

次の文を読んで設問に答えよ。

旧石器時代には、打ち欠いた剥片石器を生み出したが、この石器の例として主に獲物の解体や槍先に装着して狩猟に用いた がある。こうした石器の他に、動物の骨や角を加工して を用いて採集・漁労を行っていた事態の経済形態は、一般に と呼ばれる。また、時を経て新石器時代には狩猟・漁労の から農耕・牧畜の へと移行した。やがてメソポタミア北部には初期農耕集落が出現し、この集落が都市へと発達するには、農耕に必要な水を人工的かつ安定的に供給して、農作物の増産を図る の登場が不可欠だった。

設問1. に入る言葉を次から選べ。

- a.石斧 b.石刃 c.尖頭器 d.ハンド=アックス

設問2. に入る言葉は？

設問3. に入る言葉は？

設問4. に入る言葉は？

設問5. に入る言葉を次から選べ。

- a.天水農法 b.粗放農法 c.略奪農法 d.灌漑農法